

2014 年 6 月【第 1 回】定例プレスリリース

日時：平成 26 年 6 月 11 日（水）

リ リ ー ス 事 項

1. 平成 25 年度ニュージーランド短期語学留学報告会を開催します【資料添付】
（当日取材のお願い）
2. 『政治学』講義内で模擬投票を行います
（当日取材のお願い）
3. 公益大教員紹介シリーズ「自らを育てるソーシャルワーカー」
（事前告知と当日取材のお願い）
4. 春のオープンキャンパス第 3 弾を開催します
5. 公益大教員紹介シリーズ「地域包括ケアシステムと地域福祉の方向性について」
【資料添付】（事前告知と当日取材のお願い）

次回の定例プレスリリース（6 月第 2 回）は平成 26 年 6 月 25 日（水）の
予定です。

リリースに関するお問い合わせ

東北公益文科大学入試事務室（広報担当）

佐藤^{えみ}英美

TEL) 0234-41-1117 FAX) 0234-41-1134

E-mail) koho@koeki-u.ac.jp

平成 26 年 6 月 11 日

東北公益文科大学

平成 25 年度 ニュージーランド短期語学留学報告会を開催します

本学では今年度から、2 系・5 コース・3 特別プログラムの新カリキュラムがスタートしています。その中の「国際教養コース」では学生の留学を原則必修にするなど、これまで以上に学生の海外留学を奨励。事前学習指導のほか、費用面でも最大 3 分の 2 を大学が助成しています。平成 25 年度は、ロシア（モスクワ国立大学）に 9 名、アイerland（コーク大学）に 3 名、アメリカ（クレイトン大学）に 5 名、ニュージーランド（ワイカト大学）に 5 名の学生が留学。今年 2 月から 3 月に実施したニュージーランド短期語学留学参加学生による報告会を以下の日程で開催します。

つきましては、一人でも多くの方に学生の発表をご覧いただきたいと考えています。当日の取材について格段のご配慮を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

■日時： **6 月 12 日（木） 18:10～19:30**

■会場： 東北公益文科大学酒田キャンパス（酒田市飯森山 3-5-1）
教育研究棟 1 階 104 教室

■報告者： ニュージーランド短期語学留学参加学生 5 名

■参加料： 無料（申込不要。直接会場へお越し下さい）

- 今回のニュージーランド短期語学留学では、
平成 26 年 2 月 15 日から 3 月 7 日までの約 3 週間 語学研修、
3 月 10 日から 3 月 14 日までの 5 日間 現地でインターンシップを行いました。

お問い合わせ：教務学生課
電話） 0 2 3 4 - 4 1 - 1 1 1 6

平成25年度 ニュージーランド短期語学留学報告会

Let's go to New Zealand!

日 時:平成 26 年 6 月 12 日(木)

時 間:18:10 ~ 19:30

場 所:東北公益文科大学 104 教室



※ニュージーランドや海外の文化・生活に興味のある方、
今後、海外への留学を検討している方はぜひご参加ください！

お問い合わせ

998-8580 山形県酒田市飯森山 3-5-1 東北公益文科大学 教務学生課

電話 0234-41-1116 FAX0234-41-1135 メール kyomu@koeki-u.ac.jp

平成 26 年 6 月 11 日
東北公益文科大学

『政治学』講義内で模擬投票を行います (当日取材のお願い)

和田明子教授担当の「政治学」では、日本の政治をめぐる具体的な課題を取り上げながら、それらを理解し自分なりの意見を持てるようになるために必要な政治（学）に関する基礎的知識・視点を身につけることを目標としています。

「政治学」の講義では、2012 年度から毎年、山形県選挙管理委員会の方を講師にお招きし、若者の投票率向上を目的とした選挙に関する出前講座を実施。今回、その講義の中で学生たちが「模擬投票」を行います。つきましては、当日の取材につきまして格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

★ポイント

- ・ 「政治学」は 1～3 年生、約 70 名が履修している講義で、受講生のほとんどは選挙権がまだない 1 年生です。そのため、実際の選挙等の投票は初めての経験という学生が多いことが予測されます。
- ・ 当日は、山形県選挙管理委員会事務局と酒田市選挙管理委員会事務局から外部講師をお招きします。

■ 日 時： 平成 26 年 **6 月 17 日（火）**

■ 時 間： **13:00～14:30**

■ 会 場： **東北公益文科大学酒田キャンパス
教育研究棟 1 階 105 教室**
(山形県酒田市飯森山 3－5－1)

お問い合わせ
教務学生課
電話) 0 2 3 4－4 1－1 1 1 6

平成 26 年 6 月 11 日

東北公益文科大学

公益教養プログラム FORUM21・公益大教員紹介シリーズ 「自らを育てるソーシャルワーカー」

(事前告知と当日取材のお願い)

東北公益文科大学 地域共創センターでは、公益教養プログラム FORUM21 の開催を通じて、本学学生はもちろん、広く地域のみなさまにも学びや交流の機会を提供しています。

今回は、社会福祉学やソーシャルワークを専門とする小関久恵講師が、「自らを育てていける専門職を育てるためには何が必要か」について、ソーシャルワーカー養成教育の構造の側面からお話させていただきます。

多くの方に本学の講義を体験していただける機会となっております。

ぜひ、貴広報媒体によるイベント情報掲載などによる事前の開催案内について、格別のご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

●少子高齢化が顕著に進み、人々の生活課題が多様化・複雑化している中、その課題解決に向かうソーシャルワーカー。ソーシャルワーカーが自分自身を援助の媒体にして人々の生活・人生に関わっていく課題解決過程では、自らを省みて自己成長していくことと常に背中合わせの関係です。自らを育てていける専門職を育てるためには何が必要か、ソーシャルワーカー養成教育の構造から考えます。

- 日 時： **6 月 19 日(木) 18:30~20:00**
- 会 場： 東北公益文科大学 公益ホール 2 階 中研修室 2
(酒田キャンパス住所：山形県酒田市飯森山 3-5-1)
- 参 加 費： 無料
- 申 込 み： 不要
- 講 師： 小関 久恵(本学講師)
- 主 催： 東北公益文科大学 地域共創センター

お問い合わせ：地域共創センター

電話) 0 2 3 4 - 4 1 - 1 1 1 5

【平日 8:30~17:00 受付】

メール) kyoso@koeki-u.ac.jp

平成 26 年 6 月 11 日
東北公益文科大学

春のオープンキャンパス 第 3 弾(6/21)を開催します

東北公益文科大学では、6 月 21 日（土）10 時 30 分から、春のオープンキャンパス第 3 弾を開催します。今回のオープンキャンパスは、大学業界に精通した外部講師をお招きしての講演会を開催するほか、初めての試みとして、大学ならではの学びの手法であるフィールドワーク（実地調査）の体験企画も実施します。

つきましては一人でも多くの方にオープンキャンパスに来場していただきたく、貴広報媒体による事前広報や当日取材へのご協力何卒よろしくお願い申し上げます。

★ポイント

- ①【11：00～12：00 講演会『大学入試について親子で考えよう』】
大学業界に精通し各種メディアにも数多く登場されている、株式会社大学通信の安田賢治氏を講師にお迎えし、今年度の大学業界のトピックスや入試動向、志望校選びのコツなど最新の大学情報についてご講演いただきます。
- ②【13：00～14：30 『学び体験ライブ！“地元フィールドワーク”』】
本学で多く講義で取り入れられている実地調査（フィールドワーク）。今回は大学周辺の自然環境や施設などを楽しく探検・散策しながらフィールドワークを体験。調査したことを簡単な成果物にしてみます。

○日 時：平成 26 年 **6 月 21 日(土) 10:30～15:00**
(申込不要・入退場自由)

○内 容：講演『大学入試について親子で考えよう』、コース説明、
学び体験ライブ“地元フィールドワーク”、就職・資格取得サポート
相談会、個別相談など

○問い合わせ：入試事務室 0120-41-0207（フリーコール）

お問い合わせ

入試事務室 前田、佐藤（剛）

電話）0234-41-1118

平成 26 年 6 月 11 日

東北公益文科大学

公益教養プログラム FORUM21・公益大教員紹介シリーズ 「地域包括ケアシステムと地域福祉の方向性について」

(事前告知と当日取材のお願い)

東北公益文科大学 地域共創センターでは、公益教養プログラム FORUM21 の開催を通じて、本学学生はもちろん、広く地域のみなさまにも学びや交流の機会を提供しています。

今回は、社会福祉学や相談援助理論を専門とする佐野治准教授が講師となり、「地域包括ケアシステムと地域福祉の方向性」について、2025 年以降を見据えた我が国の高齢者介護等のあり方や地域を基盤とする支援方策等、地域福祉推進の流れとからめて解説させていただきます。

多くの方に本学の講義を体験していただける機会となっております。

ぜひ、貴広報媒体によるイベント情報欄掲載などによる事前の開催案内について、格別のご配慮を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

●近年の介護保険制度の改正にともない地域包括ケアシステムの構築が進められています。2025 年以降を見据えた我が国の高齢者介護等のあり方、そして地域を基盤とする支援方策等、地域福祉推進の流れとからめて解説します。

- 日 時： **7 月 3 日(木) 18:30～20:00**
- 会 場： 東北公益文科大学 公益ホール 2 階 中研修室 2
(酒田キャンパス住所：山形県酒田市飯森山 3-5-1)
- 参加費： 無料
- 申込み： 不要
- 講 師： 佐野 治(本学准教授)
- 主 催： 東北公益文科大学 地域共創センター

お問い合わせ：地域共創センター
電話) 0234-41-1115
【平日 8:30～17:00 受付】
メール) kyoso@koeki-u.ac.jp

「自らを育てるソーシャルワーカー」

小関久恵講師

少子高齢化が顕著に進み、人々の生活課題が多様化・複雑化している中、その課題解決に向かうソーシャルワーカー。ソーシャルワーカーが自分自身を援助の媒体にして人々の生活・人生に関わっていく課題解決過程では、自らを省みて自己成長していくことと常に背中合わせの関係です。自らを育てていける専門職を育てるためには何が必要か、ソーシャルワーカー養成教育の構造から考えます。



日時： 6 月 19 日 (木) 18:30～20:00

「地域包括ケアシステムと地域福祉の方向性について」

佐野治准教授

近年の介護保険制度の改正にともない地域包括ケアシステムの構築が進められています。2025 年以降を見据えた我が国の高齢者介護等のあり方、そして地域を基盤とする支援方策等、地域福祉推進の流れとからめて解説します。



日時： 7 月 3 日 (木) 18:30～20:00

会場：東北公益文科大学 公益ホール2階 中研修室2

(山形県酒田市飯森山3-5-1)

両日とも会場は同じです

*申込不要